

レタンPGエコ HSクリヤー（Q）

No.	工 程	作 業 要 領	作 業 の ポ イ ン ト
1	カラーベース 	カラーベースの塗装は各種塗装仕様に準ずる	
2	調合	①通常仕様 { ベース } { 硬化剤 } { PGエコシンナー } 100 + 50 + 20~30 ②プラスチック仕様 { ベース } { プラスチック硬化剤 } { PGエコシンナー } 100 + 60 + 20~30	
3	クリヤー塗装 	塗装回数：1.5回(連続塗装)	①捨て塗り 薄く均一に塗装する ②仕上げ塗り コート間セッティングなしで、肌を整える
4	セッティング 	20℃×5分以上	
5	乾 燥 	OHB <通常仕様> 強制乾燥：60℃×8分 常温乾燥：2時間×20℃ <プラスチック仕様> 強制乾燥：60℃×20分 OEV <通常仕様> 強制乾燥：60℃×12分 常温乾燥：2時間×20℃ <プラスチック仕様> 強制乾燥：60℃×25分 ※次ページ参照	

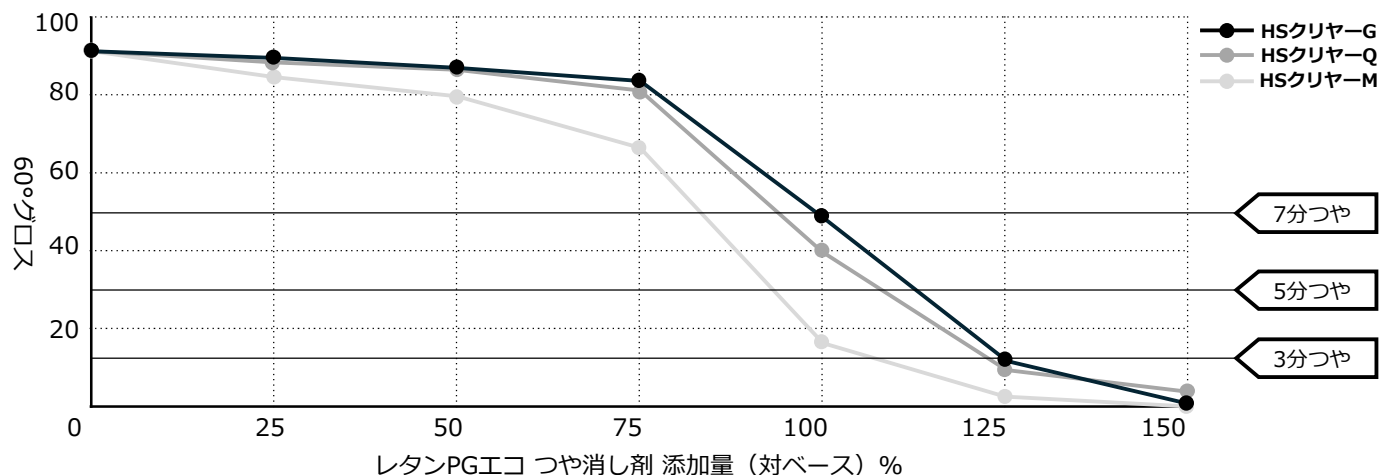
■ アネスト岩田 KIWAMI-1-14KP6

エ ア 圧 力 (手元) (MPa)	吐 出 量 (回 転 数)	パ タ ー ン 幅	ガ ン 距 離 (cm)
0.20~0.30	2.5~3.5	全 開	10~25

硬化剤	温 度 (℃)								
	5	10	15	20	25	30	35	40	
遅乾形						■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			
標準形	■ ■ ■ ■							■ ■ ■ ■	

レタンPGエコ HSクリヤーつや消し仕様

【つや消し剤添加量とつやの関係】



配合比	ベース	硬化剤	レタンPG エコつや消し剤	エコシンナー
HSクリヤー-G	100	50	0～150	0～30
HSクリヤー-Q	100	50	0～150	0～30
HSクリヤー-M	100	33	0～150	0～30

グラフはレタンPG/ハイブリッドエコ#400ディーブブラック上の結果を示す。

※塗装回数が少ない場合、つやムラ、塗膜性能低下が懸念されるため、2.5回塗装を推奨します。

※1ランク遅いシンナーをご使用ください。

注 意 事 項

●下記の注意事項を守って下さい。 ●詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

予 防 策

- 取り扱い作業中および塗膜乾燥中の作業場は、局所排気装置等を稼働させ、必要な保護具(呼吸用保護具、保護メガネ、保護手袋等)を着用し、粉じん・ガス・ミスト・蒸気の吸入および皮膚等へ直接付着しないようにすること。
- 有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、作業内容に応じて、適切な皮膚障害等防止用保護具を着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 - 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等が場合は、医師の診察を受けること。
 - 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 - 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。